

広報



ま

つ

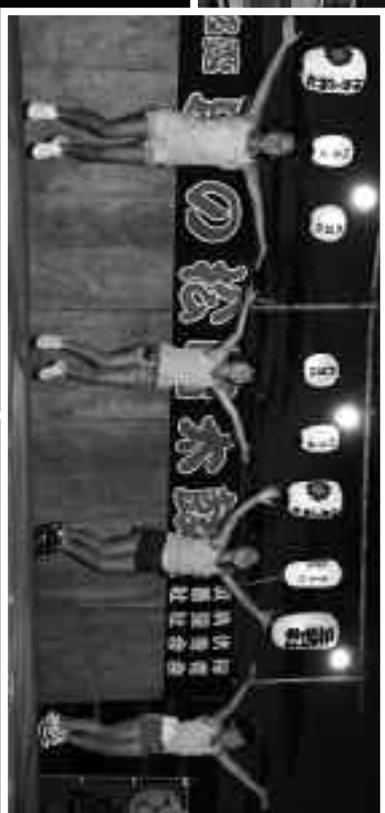
ぎ

ぎ

9

2012
(平成24年)

No.580



8/15
伝統芸能披露 「夏の松崎太鼓」

ハーブ実証栽培事業

初めての収穫と加工体験

町と町農業再生協議会では、耕作放棄地を活用して栽培したハーブを単なる生産だけに終わらせず、加工品づくりから試験販売を行う、6次産業化に向けて取り組んでいます。

これまでの取り組み

- 一・耕作放棄地の再生
草刈・耕運・整地を行い、有機肥料を投入する等、土壌改良にも努め、耕作放棄地を農園に再生しました。
- 二・ハーブ苗の植え付け
町農業再生協議会の構成員や松崎幼稚園中川園の園児により、ハーブの苗34種類約7,000株を植え付けました。
- 三・ハーブ説明看板の設置

植え付けた34種類のハーブの説明看板を設置し、その用途や効能が、農園を訪れた方にわかるようにしました。

四・ハーブの収穫加工体験
7月末に町農業再生協議会の構成員や町内外の一般参加者により、ハーブの収穫加工体験を行いました。



ハーブの収穫は、丁寧な作業が必要とされますが、参加者は手際良く1時間足らずで25鉢の収穫をしました。

収穫作業後には、ルバーブというハーブを使ったジャムや、ペパーミントの葉でハーブティーを作る等の加工体験を行いました。



ハーブでジャムづくり

今後の取り組み

一・ハーブの加工品づくり
ハーブは、食用・薬用・加工用と用途が広く、多様性があります。今後、ハーブの種類に合った加工品づくりをしていきます。

例えば、ハーブティー、入

浴剤、化粧水、虫よけスプレー等への製品化、またハーブを使った料理教室等を計画しています。

二・販路の開拓

商品開発とともに販路の開拓は大変重要な課題です。

町内への販売だけでなく、町外への販売を目指し、現在、姉妹都市の帯広市への販路について検討を重ねています。

また、町外企業の新製品開発にも協力しています。

三・グリーンツーリズム

ハーブ農園を活用し、ハーブの収穫やハーブせっけんづくり等、多くの体験メニューが考えられます。

今後、体験ツアーを企画してグリーンツーリズムの推進を図ります。

ハーブ栽培の普及へ

このように、ハーブには多くの経営展開の可能性があります。

今後、このハーブ実証栽培事業の取り組みを基に、町内にハーブの栽培が普及するよう支援をしていきます。

【問合せ】

産業建設課（42）3965

平成25年3月 伊豆半島で初めて！

本格的トレイルランニング

レースを開催



伊豆半島で初めての本格的なトレイルランニングレース「Izu Trail Journey」第1回伊豆松崎・修善寺間山岳競争大会が平成25年3月10日に開催されます。



レースが行われる山々の様子

トレイルランニングは、山間部等の自然の中を走るもので、今回の大会は、持続可能な伊豆の新しい旅の提案や伊豆地域におけるスポーツ交流人口の拡大、おもてなしによる伊豆ファン増加とトレイルランニングの発展への貢献を目的としています。

コースは、世界で活躍するプロトレイルランナー鈴木毅氏がプロデュースし、松崎町から伊豆市までの山岳地域約70kmでレースが実施されます。

大会には、全国各地から1,500人余りの参加者を予定し、現在、松崎町をはじめ伊豆市等の行政や観光関係者、関係団体からなる伊豆トレイルランニングレース実行委員会（松崎町観光協会内）で開催に向け準備を進めています。

なお、レース実施にあたっては、多くのスタッフが必要となることから、皆様のご支援、ご協力をお願いします。

【問合せ】
伊豆トレイルランニング
レース実行委員会
（43）2000

第35回 街角の花コンクール



街

角の花コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇、プランター等についても評価する機会を設け、花いっぱい運動の更なる推進を図ろうと行われているものです。

審査は、花壇コンクールと同日に行われ、取り組みの様子や工夫していること等について採点しました。

【最優秀賞】

望月 卓さん（東区）

【優秀賞】

山本 善雄さん（指川）

花

花壇コンクールは、花いっぱい運動の推進や住民の手によるふるさとづくりの推進、花壇づくりを通しての地域コミュニティの推進を目的に行われ、今年で35回目となります。

審査は、町長をはじめ、県伊豆農業研究センターの研究員や知識経験者、「花咲くしずおか」賀茂地域推進協議会事務局ら6人があたりました。

審査員は、参加した20団体の花壇を1日かけて回り、取り組み度、努力度、創意工夫度、技術度の4項目を採点しました。

表彰は、秋に開催が予定されている「さんさん松崎福祉大会」で行われるほか、上位の団体は、県が開催している「花咲くしずおか花いっぱいコンクール」に推薦されます。

【最優秀賞】

花の親睦会（小杉原）

【優秀賞】

天寿会（岩地）

峰寿会（峰）

活性会（池代）

【努力賞】

浅間会（雲見）

松尾区（松尾）

常盤会（伏倉）

なでしこグループ（江奈）

寿会（船田）



審査の様子



優秀賞 天寿会（岩地）



最優秀賞 花の親睦会（小杉原）



優秀賞 活性会（池代）



優秀賞 峰寿会（峰）



最優秀賞 望月 卓さん（東区）

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

小中学生による

帯広市と姉妹都市交流

松本市安曇地区と地域交流



小中学生が、夏休みを利用して、北海道帯広市と長野県松本市安曇地区の小中学生と親睦を深めるために、それぞれの地域を訪問し、交流を行いました。

松崎から帯広へ

臼井静男松崎小学校長を团长とした、小学生ら14人が、7月25日から27日まで帯広市を訪問しました。



帯広市の米沢市長と一緒に

一行は、帯広市役所への表敬訪問や依田勉三翁のお墓参り等その他、パークゴルフやアイススケートで帯広の子どもたちと交流を深めました。また、ジャガイモ掘りや牧場での搾乳体験、アイススクリーム作り等、帯広ならではの有意義な体験学習もできました。

参加者たちは、この3日間の訪問で、依田勉三翁の偉大な功績に触れるとともに、素晴らしい夏の思い出を作ることができました。

松崎から安曇へ

土屋晴樹松崎中学校長を团长とした、松崎中学校2年生の一行39人が、8月22日から24日まで松本市安曇地区を訪問しました。

一行は松本市到着後、重文岩科学校と姉妹館提携を結ん

でいる旧開智学校や松本城を見学しました。

翌日は、大黒岳登山に挑戦し、山頂からアルプスのパノラマを一望する等、雄大な自然を満喫しました。午後からは安曇地区の中学生と交流会を行い、お互いの親睦を深めました。



大黒岳の山頂にて

安曇から松崎へ

松本市安曇地区の中学生ら19人が、7月17日から19日までの3日間の日程で来町しました。

初日は、役場を表敬訪問した後、小泉商店で桜葉の摘み取り体験をし、長八美術館や重文岩科学校等、町内の文化施設を見学しました。

2日目は、岩地海岸で地引網や海水浴を楽しみました。

地引網では、みんなで力を合わせて網を引き、獲れた鯛やキス等は、夕食で食べました。

午後からは、松崎中学校2年生と砂の造形やカヌー体験を行い、交流を深めながら、楽しい時間を過ごしました。



岩地海岸にて地引網体験

帯広から松崎へ

帯広市子供親善訪問団の小中学生ら12人が、8月1日から3日までの3日間の日程で松崎町を訪れました。

初日は、光る泥だんご作りの体験をし、2日目は役場を表敬訪問した後、依田勉三翁にゆかりのある三余荘や、大沢温泉ホテルを訪問し、勉三翁の話に熱心に耳を傾けていました。

その後、松崎の子どもたちと一緒に岩地海岸で海水浴を行い、夜はミニホームステイでお互いの交流を深める等、楽しい夏休みの思い出を作ることができました。



牛原山にて記念撮影

【問合せ】

教育委員会 (42) 3971

自然・体験・友達いっばい!

三聖塾夏季宿泊体験学習

教育委員会では、毎年、小学校5年生の希望者を対象に、「花の三聖苑」を拠点とした4泊5日の宿泊体験学習を実施しています。

今年度は34人が参加し、7月27日から7月31日までの日程で、朝・夕食を仲間と協力して自炊しながら、「ふるさとを体験・学習」「ふるさとのために活動」「ふるさとの人とかわる」をテーマに活動しました。



三聖会堂にて記念撮影



中川地区コミュニティづくり推進委員の皆様とピオトープ作り

5日間の活動では、自分たちの食事となる干物作り体験、

三聖にゆかりのある三余荘や大沢温泉ホテルの訪問、竹を使った楽器作り、アユ釣り、川の生き物観察会、理科実験教室、ピオトープ作り、座禅体験等を町内で活動している方に講師をお願いし、指導を受けました。

それらの活動は、講師・ボランティアを含め、延べ70人の皆様に協力していただきました。



干物作り体験

本事業も12年目を迎えました。今年度の修了生34人に加え、420人の児童が夏季宿泊体験学習を修了しました。

過去の修了生が中高生となり、三聖塾サポーターとして協力してくれることも、本事業の大きな特徴です。中高生サポーターは、5日間で延べ59人が参加しました。先生として指導したり、仲間として一緒に楽しんだりしながら活動を支えました。

宿泊体験学習中は、花の三聖苑内への車の進入を制限させていただいたおかげで、安全に活動することができました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

【問合せ】
教育委員会 (42) 3971

B&G松崎海洋クラブ・松崎町みどりの少年団 体験活動の紹介

教育委員会では、豊かな自然に親しみ、健康で明るい子どもたちを育てるため、各種体験活動を実施しています。

海洋クラブは小学5年生から、みどりの少年団は小学4年生から入団できます。来年度の募集も、積極的な申込みをお願いします。

【B&G松崎海洋クラブ】

松崎海洋クラブは、昭和60年に設立されました。

今年度は、クラブ員14人で5月中旬から毎週土曜日に海岸清掃やカヌー訓練をしながら、海に親しむ活動をしています。時には、岩地海岸までのロングツーリングも楽しめます。

毎年8月16日には、安良里港で開催される伊豆西海岸カヌー大会に参加します。今大会も、参加した全員が、最後まで全力でパドルを漕ぎ、日ごろの練習の成果を十分に発揮しました。

【松崎町みどりの少年団】

松崎町みどりの少年団は、昭和55年に設立され、身近にある豊かな自然に触れる活動をしています。

今年度は、団員21人で4月から緑の植樹や高尾山ハイキング、田植え等の活動をしてきました。8月には富士山の麓に県下の10少年団が集まる交流集会に参加しました。

今後は、森の清掃活動や稲刈り、海洋クラブとの合同スキー教室が予定されています。



6月の活動 田植え体験

【問合せ】
教育委員会 (42) 3971

警察と住民の懸け橋

「警察署協議会」

知っていますか？

「警察署協議会」

警察署協議会とは、警察署の業務運営に民意を反映させるため、直接住民に意見を聞き、理解と協力を求めるものです。

松崎警察署協議会では、公安委員会から6人の委員が委嘱されており、犯罪の起きにくい社会づくり等に関して議論を行っています。

7月11日には、松崎警察署で、平成24年第2回松崎警察署協議会が開催されました。



松崎警察署協議会の会議の様子



第2回松崎警察署協議会概要

協議会では、まず今年の1月から6月の取り組みについて、振り込め詐欺や悪質商法の未然防止等に関するこのほか、総合的な交通事故防止対策等について説明されました。

さらに、今後、12月までの期間、こういった業務に重点を置くかについても議論され、引き続き振り込め詐欺の予防に取り組むこと、交通事故の防止については、特に高齢者の交通事故を防止すること等について答申しました。

詳しい協議概要については、松崎警察署のホームページで紹介しています。

【問合せ】
松崎警察署 (42) 0110

史料の整理に着手

松崎町には、明治・大正・そして昭和30年の町村合併以前の史料がたくさん残っています。

文書館等があるところでは、これら史料は、整理して多くの利用者に提供しているところですが、松崎町においては、図書館で町史を閲覧することはできませんが、残された史料の整理や閲覧は行われていませんでした。

史料は、近代から現代への過渡期の様子を知る貴重なものであることから、原本の破損、散逸を防ぐこと等を目的として、このたび、これら史料の整理に着手することになりました。

業務は、NPO法人伊豆学研究会に委託し、その内容は、史料の撮影とデータ処理を行い、史料のデジタル化と目録の作成をすることです。

これにより、検索や閲覧も容易になり、町史研究も大きく前進することが期待されます。

【問合せ】
教育委員会 (42) 3971

松崎文芸

俳句

秋立つや我が家のまわり草ゆれて
生かされて悔い無き日々や今朝の秋
うなぎ屋のうの字の長き紺のれん
夕端居何時しか孫の側にいる
草取りの日課や妻の左利き
紙たもの竿先ゆらす蟬の音
草花に水やりするも夕涼み
鳳仙花洗濯物もよく乾き
大皿の枝豆が好きクラス会
鳳仙花咲いてはじめて庭の隅
ひとすじの美しき青春鳳仙花
賑やかな子等去りし夕ちろ鳴く
秋思かな風に乗り来し父母の声
七夕や願ひは一つ健やかに
生垣に紛れて南瓜五寸玉
種飛ばす力秘めるや鳳仙花
法螺の音の村に飮し渡御の列

山本武男
小林忠夫
小林一男
佐藤享
細矢金治
山本一詞
石田宏
稲葉文字
依田ふじ枝
稲葉菊恵
土屋規矩子
吉岡うた子
夏目和子
鈴木すみ江
松田美智子
清水高子
斎藤みつ子

ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

昨年度に引き続き、下記の方からふるさと納税をしていただきました。
○萩 原 様 (東京都在住)
○久保田 廣近 様 (江奈)
ありがとうございました。

イベント・催し紹介

第29回 長八まつり

【日時】9月23日(日)

午前10時から

【場所】長八美術館周辺

【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

～まちのできごと～

7/14～8/26

松崎ジュニアボランティアクラブ海岸清掃



海水浴客等にぎわう夏の期間中、小学生から高校生までの有志約25人が、毎朝6時から約1時間かけて海岸の流木や空き缶、花火等のゴミを集めました。

8/15・16

夏まつり



岩地、雲見海岸では、15日に花火大会が行われました。翌日の16日には、松崎地区で灯ろう流しや花火大会等、多彩な催しが行われ、多くの人で賑わいました。

8/16

第27回伊豆西海岸カヌー大会



西伊豆町の安良里漁港では、伊豆西海岸カヌー大会が開催されました。松崎町からは、海洋クラブの子どもたちが参加し、7人が入賞しました。

8/20～22

雲見海岸キャンドルロードの夕べ



雲見海岸では、20日から22日まで、観光客や地域住民の皆様には夜の海岸を楽しんでいただくため、海岸をろうそくの灯火で彩るキャンドルロードの夕べが行われました。

8月10日、毎年恒例となっている花壇コンクールと街角の花コンクールの審査を行いました。

今年、花壇コンクールへ20団体、街角の花コンクールへ5人の方から申し込みをいただき、1日かけて全ての花壇を拝見させていただきました。

真夏の炎天下にもかかわらず、きれいに花を咲かせ、きれいに花を咲かせるためには、大変な努力と会員間の連携が必要です。

こうした皆様の活動によって管理された花壇は、町民だけでなく、町を訪れる観光客や帰省された方たちの心を和ませたことと思います。

今回で35回目となる花壇コンクールですが、会員の高齢化や減少等により、多くの団体において、花壇を維持することが困難になり、解散してしまいう団体も現れ始めました。

こうした中、地区内の花壇が管理されていないことを残念に思い、地域の女性グループが花壇の再

第35回松崎町花壇コンクール・第20回街角の花コンクール

生に取り組み、今回の花壇コンクールに初めて参加していただきました。見事に再生された花壇は、審査員の皆様にも大変好評で、努力賞を受賞しました。

今回の女性グループや、先月協定を締結した耕作放棄地の解消に取り組み団体等、行政の手が届きにくい分野で、町民の皆様が主体となって活動していただいていることにあらためて感謝いたします。

今後ともさまざまな分野でこうした団体に活躍していただけることが、平成の花とロマンのふる里づくりや今年度加盟を目指している日本で最も美しい村連合の活動の基礎となります。

こうした日々の活動の積み重ねが素晴らしいまちづくりに繋がると確信していますので、町民の皆様におかれましても、積極的なご参加をお願いいたします。

松崎町長

齋藤 文彦

町長室からこんにちは ③③

町の人口と世帯

(平成24年 7月31日現在)

()内は前月比

総人口	7,715人	(+27人)
男	3,662人	(+14人)
女	4,053人	(+13人)
世帯数	3,091戸	(+8戸)
転入	18人	転出 12人
出生	4人	死亡 10人

* 7月9日の住基法改正により、今月分から外国人住民(27名)を含む。

町の交通事故

平成24年 7月発生分

()内は前年同月比

人身事故	1件	(±0)
物損事故	10件	(+3)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(±0)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
宮内	藤田一雄	79	みさを
岩地	齊藤平治郎	76	国 広
雲見	鈴木武義	78	八十志
伏倉	佐藤ますよ	67	和 夫
大澤	高橋孜江	88	修
指川	山本文代	68	浩 之
江奈1	平馬文枝	82	學
道部	藤本隆史	71	和 子

戸籍だより

(7月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
峰輪	心愛	女	齋藤一憲
江奈3	翔生	男	八木一弘
山口	大	男	鈴木茂孝

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

ストップ!悪質商法被害

あなたも賢い消費者に⑧

「多様化する決済方法」

近年、インターネットや携帯電話を利用した通信販売やサービスの提供等の契約において、その代金の支払方法が、翌月一括払いによるクレジットカード決済である場合、電子マネーを利用する場合、コンビニ収納代行を利用する場合、携帯電話の通話料金等と一緒に携帯電話会社から請求を受ける場合(キャリア課金)等、多様化しています。

仮にインターネット詐欺等の被害に遭った場合に、それぞれの決済手段によって適用される法律が異なることもあり、また、受け皿となる法律が未整備の場合もあります。

これらの決済方法はいずれも便利なのですが、いざトラブルが発生した際のことでも考えた上で利用をしたいものです。

もし、このようなトラブルが発生した場合は、すぐに役場等へ相談してください。



【問合せ】 企画観光課(42)3964

(文と絵) 司法書士 山田 茂樹

姉妹都市通信

帯広市から

「観楓会」

北海道には、秋にも「観楓(かんぷう)会」というお花見があります。だいたい9月から10月の紅葉が色づく季節に行われます。

この観楓会、春のお花見と大きく違ってるところがあります。

それは、お花見は近場で日帰りで行われる場合が多いのに対し、観楓会は温泉宿等で一泊すること、なんと花は一切見ないということです。

観楓会の流れは、仕事が終わった後、みんなで貸し切りバスに乗車し移動←ゆつくり温泉につかる←大いに宴会を楽しむ←翌日にバスで帰省←駅や街中で解散となります。

お花見の時間が無いのは、観楓会は職場等での懇親を主な目的としている、まさに花より団子という行事になっているためです。

本日に紅葉を楽しみたい人は北海道でもやはり「紅葉狩り」に出かけることになりま

す。

これから北海道は紅葉のシーズンを迎え、「観楓会」にも「紅葉狩り」にも最高の時期になります。

十勝・帯広にも素敵な紅葉スポットがたくさんありますので、松崎町の皆様も鮮やかな紅葉を楽しみに、ぜひ帯広へお越しください。



帯広の紅葉の様子

